

「みえ産業振興戦略」の改訂  
伊勢志摩サミットを契機とした産業の  
ステージアップに向けて

平成28年2月22日

三重県

### 議論の ポイント③

将来像の実現に向け、7つの戦略に基づき、具体的な施策を実施していく。

### 議論の ポイント②

レガシーを生かし（繋ぎ）、めざすべき将来像を描く。

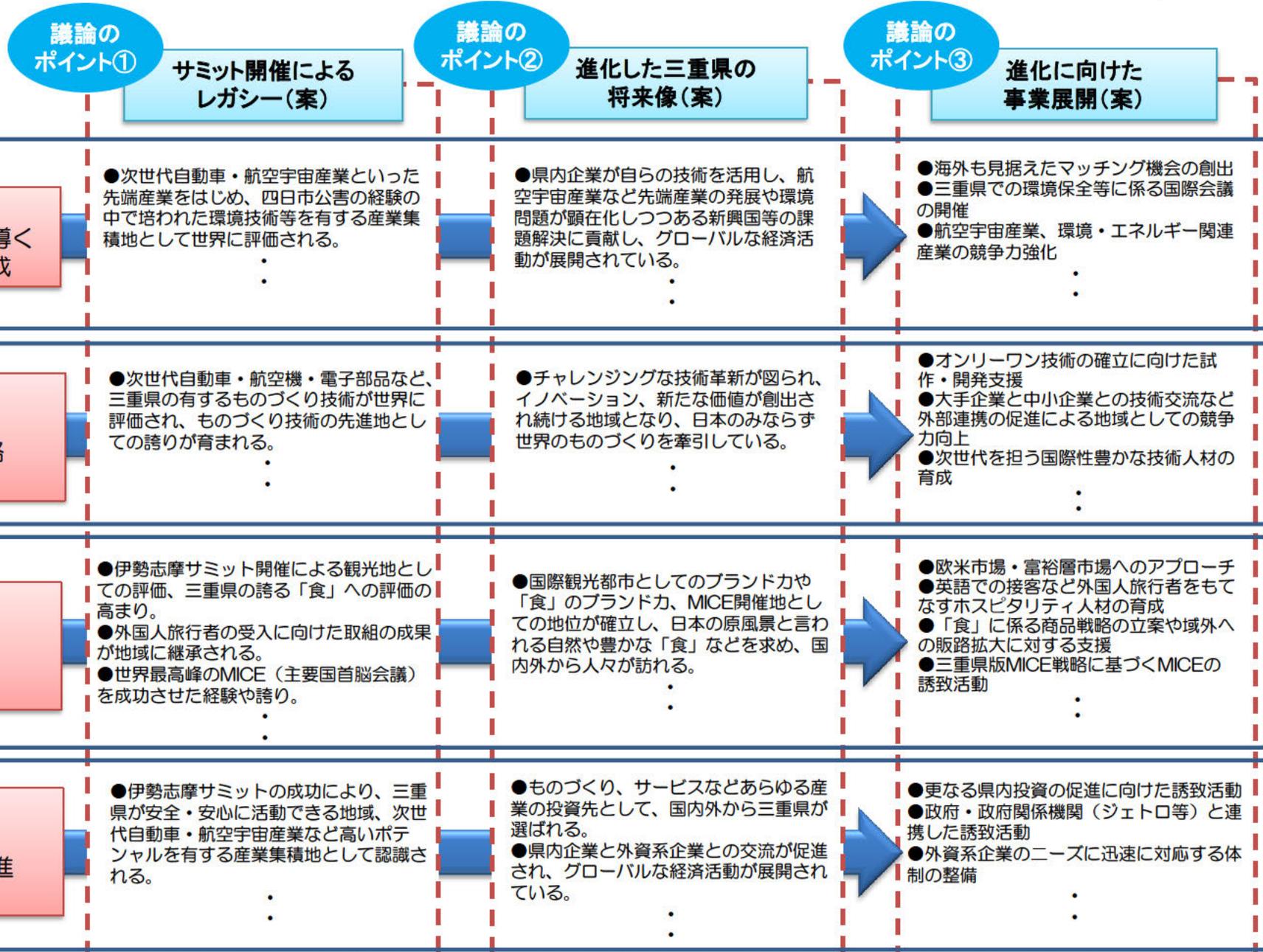
### 議論の ポイント①

- 伊勢志摩サミットが三重県に残すレガシー
- 伊勢志摩サミットで三重県が仕掛けて残すレガシー

#### 伊勢志摩サミット開催による「レガシー」3つの視点

①知名度の向上 ②会議自体の成果 ③地域の総合力向上

# 伊勢志摩サミットを契機とした産業のステージアップに向けて



# 伊勢志摩サミットを契機とした産業のステージアップに向けて

議論の  
ポイント①

サミット開催による  
レガシー(案)

議論の  
ポイント②

進化した三重県の  
将来像(案)

議論の  
ポイント③

進化に向けた  
事業展開(案)

戦略⑤  
中小企業  
小規模企業  
振興

- 地域を支えている中小企業・小規模企業の果たしている役割が伊勢志摩サミットを通して、再認識されるとともに、企業自身が自らの活動に誇りを持つ。
- 伊勢志摩サミットを通して、中小企業・小規模企業の製品・サービスが世界に評価される中、世界の中の三重という意識を持ち、海外との距離が縮まる。

- 三重県のブランド力が国内外で高まり、輸出・インバウンド等を介した販路が拡大することで、本県の経済、社会を支えている中小企業・小規模企業の活動が活発になっている。

- 伊勢志摩サミットを契機として、新たな事業展開を図ろうとしている中小企業・小規模企業に販路拡大などへきめ細かな支援

戦略⑥  
ひとづくり

- 世界中の人々が集うことにより世界の多様性を尊重するマインドや国際社会への理解が促進される。
- 伊勢志摩サミット開催にあたり、地域が有するアイデンティティ、文化等を再認識する中で、地域への愛着・誇りが育まれる。

- グローバルスタンダードな観点で企業活動に携わりながら、地域のために貢献できる人材が県内で活発に活動している。

- グローバルな視点を持った経営人材の育成や起業の促進
- 英語での接客など外国人旅行者をもてなすホスピタリティ人材の育成(再掲)
- 次世代を担う国際性豊かな技術人材の育成(再掲)
- 成長が見込まれる分野など、産業の動向に呼応した人材の育成

戦略⑦  
域外(国内外)  
とのネットワーク  
構築・活用

- 伊勢志摩サミットの成功に向け育まれた域外とのネットワーク。
- 伊勢志摩サミットを成功させた経験やノウハウの蓄積。

- 本県の有するネットワークやサミットの経験を呼び水に、国内外を問わず人や情報が流通することで、集客のみならず、ビジネスや研究環境の向上など地域の競争力が向上している。

- サミットを契機とした本県の競争力強化に資するネットワークの構築・強化
- 世界経済のリーダーが集う国際会議の誘致
- 次世代を担う学生の国際交流の推進
- 国際物流ハブ等のネットワーク活用による海外市場の獲得